

庄原市の魅力を発信しませんか

「さとバス」

ツアーガイドを募集

観光公社設立準備室は地域資源を生かした観光振興を図ろうと、庄原市発着で市内を巡る「さとバスツアー」を企画・実施しています。

12月19日に実施した「さとやま美食修行！年越しそばは自分で打つ！」では、そば打ち体験と地元産そば粉を使った「比婆牛そばセット」の昼食、東城まちなみ散策や温泉をセットにして観光客をもてなしました。

観光公社設立準備室では、このような「さとバス」に1日乗車して、ツアー参加者に庄原市の魅力を案内する地元ガイドを募集しています。庄原市が大好きな方であれば、年齢・経験は問いません。また、4月以降、定期的なガイド講習会も行う予定で、初心者の方も安心してご応募ください。

お問い合わせ 観光公社設立準備室
☎0824-72-3385

Interview

「インタビュー」 地元ガイド 美除千鶴さんに聞く！

東城町観光ボランティアガイド会に所属し、今回「さとバスツアー」に地元ガイドとして同行した美除千鶴さんに、ツアーの感想を聞きました。



—さとバスツアーの印象は

以前は、観光地へ行って建物や自然を見て、おいしいものを食べるという

のが一般的なバスツアーでしたが、最近は何か体験できたり、地元の話の聞いたりするツアーが人気です。今回のツアーで、たまたま作業中の除雪車とすれ違った時、参加者は身を乗り出して「初めて除雪車を見た」と興味深そうに眺めていました。このように地元の人にとっては普段の何気ない風景も、都市部の人にとっては非日常的で、知的好奇心が満たされるのだと感じました。

—ガイドは難しくありませんか

「庄原市は良いところだからぜひ来てほしい」という気持ちがあれば大丈夫です。交流を通して、必ず気持ちは相手に伝わります。

多くの観光客を呼び込むには、観光資源も大切ですが、やはり市民一人一人の力が欠かせません。例えば、桜を見に来た観光客に、桜の木の下でエピソードを語ることで、桜の価値が上がり、庄原に来られた観光客も満足度が高くなると思います。

農林業の分野でも何でもいので、自分が長年蓄積してきたものを、一歩踏み出して観光客にアピールしてほしいと思います。地元の良さが伝わった時は、ガイドをしていて本当に楽しいと感じます。

—今後どんな魅力を発信したいですか

ぜひ紹介したい場所は、西城町落合の山の谷間を西城川と鉄道が並んで走っているあたりの紅葉など。そして、県民の森のブナ林の新緑など。また、比婆科学教育振興会が主催する「帝釈理科講習会」では植物や動物、鉱物など

東城町観光ボランティアガイド会

平成17年に発足。国定公園帝釈峽をはじめ山野草、東城の町並みやお寺、桜などの魅力をたくさんの人に知ってもらうため講習会を実施して知識の向上を図っています。現在、会員を募集しています。一緒におもてなしの心で、東城町の歴史や自然を紹介してみませんか。

- ボランティアガイド会員数/22人(H21.4月現在)
- ガイド実績(H20年度)/観光客346人を案内

問い合わせ 東城町観光ボランティアガイド会
事務局:帝釈峽観光協会(東城町商工会内)
☎08477-2-0525

を詳しく勉強することができます。これからも地元を歩き、庄原市の魅力を再発見しながら、ガイドとして広く発信していきたいと思えます。